

Hm²助成支援団体のご紹介

みんなの家・House for All

代表 ^{みやけ}三宅 ^{のぶこ}ストーナー 展子さん

令和元年7月に設立された「みんなの家・House for All」は、小学生たちがグローバル社会で夢を持ち、自分らしく生きてゆく力を養うための全人的形成を目指す放課後インターナショナルスクールです。代表の三宅ストーナー展子さんほか、常時3~4人のボランティアで運営しています。▲畑での野菜作りの様子



42年間のアメリカ滞在経験を持つ三宅さんは、平成29年に帰国。久しぶりに触れ合う日本の若者の多くが「夢」を持っていないことに愕然としたと言います。「夢を語れない若者たち、自己表現をためらう若者たち、日本の若者が皆そうだとは思いますが、私はとても残念に思いました。若者たちに夢見る未来がない、これほど悲しいことはありません」と、当時を振り返ります。人生の3分の2をアメリカで過ごし「自分らしく生きる」ことで人生の可能性を見出した三宅さん。「この私にできることはないか」と自問自答を続けながらたどり着いたのが「みんなの家・House for All」です。

子どもたちが主役の「みんなの家・House for All」の主な理念は3つ。1つ目は、豊かな感性と創造力を育む。2つ目は、世界の人々と繋がる。3つ目は、選択できる環境の中で自分の興味のあることを見つけ出す。これらは「教育とは潜在能力を引き出していくこと」と考える三宅さんの思いでもあります。「今日は何がした

い?と聞かれて自分の思いを話せるように子どもたちを応援していきます。その為には信頼で結ばれた私たちと子どもたちとの人間関係が大切なんです」。

何をするにも多岐多様な体験が大事 暮らしの中に溢れる学びのきっかけをキャッチする

毎週、月曜日の放課後になると、子どもたちがランドセルを揺らしながら集まってきました。みんなでおやつを作って食べたり、畑で自家栽培の野菜を育てたり。また、日本や海外の季節のイベントや夏のキャンプ、自然体験学習など、その内容は多岐に渡ります。

また、多様性の文化を重んじる三宅さんは、自身の体験も活かし英語によるコミュニケーション能力を養うことも活動の目的としており、アメリカやイギリス、フランスの人たちと過ごし、世界と繋がることのできる空間を作っています。英語が飛び交う環境に子どもたちが戸惑うのはほんの一瞬。言葉は違えど、共に過ごしながらかみ通じ合えるものを肌感覚で体験します。「さまざまな国の人と触れ合い、多様な言語や文化を実体験することで、海の向こうの世界が身近なものになってほしい」と話す三宅さん。「お互いが違うことはマイナスではなく、新しいものを見つけるチャンス!自分らしさを発揮して人生の可能性を見い出してほしい。そんな子どもたちの歩みを応援したいのです」と、熱い思いを語ってくれました。

一般社団法人 100年後の広島を創ろう委員会

代表理事 ^{おしかさ ひろし}折笠 廣司さん

原爆慰霊碑横で半世紀余りも炎を絶やさない「平和の灯」から採火した「かがり灯」を使い、広島から世界に発信できる幽玄な伝統行事・文化・観光資源として「ひろしまかがり灯の祭典」を根付かせるために活動しているのが、平成27年に発足した「一般社団法人100年後の広島を創ろう委員会」です。

もともとは8月5日の夜に、元安川沿い原爆ドーム前で、翌日の原爆慰霊の日に向けて、有志が手弁当で準備を手掛け、炎を使った日本各地で行われている伝統行事をモチーフに、川の上で始めました。

「元安橋のたもとで燃え盛るかがり灯には、原爆をはじめ、戦争による犠牲者の慰霊、供養、追悼、平和への祈り、誓い、さまざまな希望・夢・勇気などが込められています。幻想的な情景の中、炎を見つめる人々自身に、さまざまな思いを感じて欲しいと願っています」と話すのは代表理事の折笠廣司さん。

平和・鎮魂・慰霊の祈りがこもった 「かがり灯」を広島から世界へ

中心メンバーが毎月1回集まって、翌年の「ひろしまかがり灯の祭典」に向けて話し合いを続けています。かがり灯は、元安川の上に小さな筏を浮かべ、その上に24個の籠を置き、趣旨に賛同してくれた人が書いた願い札も入れて燃やしています。

令和元年は、国内外から約3,000人が集まり、鎮魂歌を歌うセレモニーが終わり灯を点けた瞬間は大きな歓声があがったそうです。またセレモニーに参加した「ワンドロップ合唱団」が、



▲8月5日夜の「かがり灯」
広島のみならず、日本各地、ニューヨーク、ハワイ、イスタンブールなど世界各国を繋いで同時合唱を行い、広島から世界へ平和の思いを発信しました。

しかし令和2年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止、第7回目となった令和3年は一般の方へ向けての告知・参加は出来なかったものの、関係者のみで開催しました。

「集客面で制限があり苦労しましたが、わざわざ足をとめて見てくれる人も多く、回を重ねるごとに認知度が高まっているのを実感します」。

「今後は、かがり灯の数を増やして、100年後の広島に輝くシンボルのひとつとして育てていきたい」と折笠さん。コロナ禍においても、広島だからこそできることを懸命に行い、祈りの時間を作りたいと活動する皆さんの姿に平和の尊さを感じました。

ピアサポート子育て相談センター

代表 ^{いけなが かずこ}池永 加寿子さん

どんなに辛いことがあっても「あきらめない、続ける、自分の生き方は自分で創っていく」ということを子どもたちに伝えるため、平成30年7月に設立された「ピアサポート子育て相談センター」。



中区東千田町のhitoto広島ナレッジスクエア1Fを拠点に、保護者と子ども、双方のサポートをしています。保護者は子育ての悩みを相談できず孤立しないように、子どもは学校や社会で嫌なことがあっても乗り越えていけるように、心理面のサポートをするためにもカウンセリングを行います。多感な中高生向けのカウンセリングでは「雑談スタイル」を大切に、カフェのようなオープンスペースがある事務所で行います。ゆっくりと信頼関係を構築しながら、色々な出来事への受け止め方や、困難も笑いに変える能力(回復力)を育むサポートをしています。保護者向けのカウンセリングは完全個室で子育ての悩みを中心に、心理学の資格を生かしたアドバイスを行っており、代表を務める池永加寿子さんは、「子どもたちの笑顔のためには、環境を整えることが大切。子どもを取り巻く環境や保護者へのサポートには特に力を入れています」と話します。

子どもへのサポートは「職業観育成」「学習指導」「自己回復力・心理サポート」

新たにスタートした「#3つのCプロジェクト」では、対象年齢を就学前後、小学生、中学生、高校生と細分化し、心理学部の学生、学習指導の経験者、心理サポーターなどの専門の力を合わせたチームで取り組んでいます。3つのCとは、「Can できる」「Creative 創る」「Communication 意思の疎通」の頭文字をとったもの。「自分の人生は自分で創っていくんだと知ってほしい。物事を冷静に捉える力と困難を乗り越える力をつけて社会に送り出してあげたい」と池永さん。

小学生まではカードゲームや工作、おやつ作りで「楽しみ」から「学び」へ。中高生は学習と、スイーツタイムが中心で、大学生が自身の勉強法を披露したり、何気ない会話から相談に発展したり、とゆったりした雑談スタイルが特徴です。人生の少しだけ先輩の生き方を知り、自分に置き換えてみる、この体験が中高生にはとても刺激的なようで、サポートする大学生たちも「将来像を描ききっかけになれば」と、優しく見守ります。

「マイナスだと思う人生も誰かのサポートでプラスに変えることができます。たった一言で通じ合えることもある。これからも、子どもたちが生きやすい環境づくりを広めていきたいと思えます」と、話す池永さんの表情は力強く印象的でした。

公益信託広島市
まちづくり活動支援基金
ひと・まち広島
未来づくりファンド
Hm²

寄付のお願い

ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)は、市民・企業・行政等が力を合わせて、市民のまちづくり活動を長期にわたり支えていくために設けられた基金です。私たちの住む広島のまちをよりよくしていくために、できるだけ多くの皆さまからの寄付をお願いします。

振込先 広島銀行広島市役所支店 / 別段預金 No.3000017

口座名義 公益信託広島市まちづくり活動支援基金寄付金受入口
※手数料は自己負担となります。
※この公益信託への寄付に対して税の減免はございません。
※頂戴したご寄付は、毎月末日締めにて集計し、翌月の5日(休日の場合は翌営業日)に基金へ寄付させていただきます。

(公財)広島市文化財団では、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動を支援し、市民、企業、行政の協働によるまちづくりを推進するための仕組みづくりとして、公益信託による基金「ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)」を設けています。

この基金は、心豊かでいきいきとした市民社会づくりを目指すため、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動に対する助成事業を行っており、助成先は、学識経験者などで構成する運営委員会が公開審査し、決定します。

これまでの助成団体や助成額等については、(公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部のホームページでご覧いただけます。

また、基金では多くの皆様からの寄付をお願いしています。

HP <http://www.cf.city.hiroshima.jp/hitomachi/>

基金の愛称「Hm²(ふむふむ)」とは…【ひと(Hito) まち(Machi) 広島(Hiroshima) 未来づくり(Miraizukuri) ファンド】の略で、頭文字(HM²)をとって「ふむふむ」と読みます。【ひと】と【まち】をつなぎ、【広島】の【未来】を創造するファンドで、みんなが「ふむふむ」と納得しながら共感が広がっていくまちづくりをイメージしています。



情報の森



催しの変更などに関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症対策のため、今後、掲載している催しなどの開催状況(内容・定員など)が変更や中止になる場合があります。詳しい開催状況は、主催者ホームページをご確認いただくか、主催者までお問い合わせください。

イベント

広島市ピースアートプログラム アート・ルネッサンス 2022

アートの持つ力で社会の豊かさ・幸せを生み出す活動を広く社会に投げかけていくことを目的に開催する作品展「アート・ルネッサンス」。

今回は入選作品の会場への展示と合わせて、全応募作品のオンライン展示を行います。

多くの人々の協働に6年前からは広島市も加わり、今年で21回目を迎えた本作品展へぜひご来場ください。



▲昨年度の応募作品
作者：阿部奈緒子さん「私の心」

日時 《会場展示》令和4年2月12日(土)～20日(日)

《オンライン展示》令和4年2月12日(土)～3月31日(木)

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟4階ギャラリー

入場料 無料

内容 様々な個性や才能が集まった障がいのある方のアート作品展。

オンライン展示は、認定NPO法人コミュニティリーダーひゅーる
ぽん HP 内の「アート・ルネッサンス特設ページにて公開



問合せ 認定NPO法人コミュニティリーダーひゅーるぽん

☎ 082-831-6888

URL <https://www.hullpong.jp>

ひと・まち広島未来づくりファンド Hm 中間活動報告ロビー展

広島のみちづくり、市民社会づくり活動団体を支援するHm(ふむふむ)。助成を受けた17の団体が、半年間の活動をロビー展示でご報告します。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動の制限や工夫を迫られた今年、どのように活動を進めてきたのでしょうか。さまざまな活動の成果とヒントをどうぞご覧ください!

日にち 12月1日(水)～12月12日(日)

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(広島市中区袋町6-36)南棟1階ロビー

問合せ

(公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課事業係

☎ 082-541-5335

URL <http://www.cf.city.hiroshima.jp/hitomachi/>

三滝少年自然の家からのお知らせ

①さたぼーのクラフト教室

親子でふれあいながら、干支(寅)の置物作り。

日時 令和4年1月8日(土)

午前の部:午前9時～11時

午後の部:午後1時～3時

内容 干支(寅)の置物作り

定員 各10組(家族)

対象 小学生以上の子どもとその家族

参加費 作品1つにつき150円、保険代30円(人数分)※当日徴収

申込方法 電話申込(先着順)

午前9時～午後5時

申込受付期間 令和3年12月1日(火)～12月20日(日)



②親子で星空観察&夜景を楽しもう in 三滝

家族を対象として四季折々の星空を楽しむ。

日時 令和4年1月15日(土)

午後6時～8時

内容 冬の星座観察(初心者向け)～冬の大三角やすばるをみつけよう～

定員 20名程度

対象 小学生以上の子どもとその保護者(幼児同伴不可)

参加費 50円(保険料、資料代など)※当日徴収

申込方法 ①②どちらかで申し込んで下さい。

①三滝少年自然の家 HPにある「申込フォーム」から申込

②事業名、郵便番号、住所、電話番号、参加者全員の名前(ふりがな)、性別、年齢、児童生徒は学年を記入し、84円切手を貼った返信用封筒(長形3号に宛先を記入)を同封して、下記共通項目申込先まで郵送

※応募多数の場合は抽選



申込受付期間 令和3年12月1日(水)～12月15日(水)※必着

③第2回三滝自然ファミリーランド

野鳥、昆虫、植物、星座など三滝の魅力ある自然を活動に生かし、さまざまな体験活動を通して、家族の絆を深めるとともに他家族との交流を図ります。

日にち 令和4年2月12日(土)～13日(日)1泊2日

内容 自然散策、クラフト、星空観察など

定員 8家族

対象 年長児相当以上の子どもとその保護者

参加費 2,000円(食費、保険料、資料代等)

申込方法 事業名、郵便番号、住所、電話番号、家族全員の名前(ふりがな)、性別、年齢、児童生徒は学年を記入し、84円切手を貼った返信用封筒(長形3号に宛先を記入)を同封して、下記共通項目申込先まで郵送してください。※応募多数の場合は抽選

申込受付期間 令和4年1月1日(土)～1月15日(土)※必着



④三滝自然ワンダーランド

野鳥、植物、星座など三滝の持つ自然の魅力を活動に生かし、日頃なかなかできないような自然体験活動を行い、思い出づくりをしながら人間的な成長を図る。

日にち 令和4年3月5日(土)～6日(日)1泊2日

内容 オリエンテーリングなど

定員 36人

対象 小学校4～6年生

参加費 2,000円(食費、教材費、保

険料など)

申込方法 事業名、郵便番号、住所、電話番号、名前(ふりがな)、性別、学校名、学年、保護者名を記入し、84円切手を貼った返信用封筒(長形3号に宛先を記入)を申込人数分同封して、下記共通項目申込先まで郵送してください。※応募多数の場合は抽選

申込受付期間 令和4年1月1日(土)～1月15日(土)※必着



※①～④共通項目

開催場所・申込・問合せ

広島市三滝少年自然の家(〒733-0802 西区三滝本町一丁目73-20)

☎ 082-238-6301

URL <http://www.cf.city.hiroshima.jp/mitaki-c/>

似島臨海少年自然の家からのお知らせ

①家族 DE グルメキャンプ in 似島

牡蠣打ち体験やバウムクーヘンづくり体験など似島ならではの食材で炊飯体験!美味しく楽しくキャンプを楽しんでみませんか?

日時 令和4年2月19日(土)午後1時半～20日(日)午後2時20分

内容 牡蠣打ち体験、豚汁づくり、バウムクーヘンづくりなど

定員 35人(8家族)程度

対象 小・中学生とその同居家族

参加費 3,500円/1人

申込方法 事業名、郵便番号、住所、参加者全員の名前(ふりがな)、生年月日、年齢、性別、電話番号(携帯)、学年を明記し、84円切手を貼った返信用封筒(長形3号)を同封の上、下記共通項目申込先まで郵送してください。

※応募多数の場合は抽選

申込受付期間 令和4年1月15日(土)～1月21日(金)※必着



②家族 DE ミモザ見学登山ツアー

軽登山をしながら、似島に自生するミモザアカシアを鑑賞しましょう。下山した後はバウムクーヘンをみんなで焼いて美味しくいただきます!

日時 令和4年3月19日(土)

午前10時10分～午後2時

内容 軽登山でミモザ見学、昼食(弁当持参)、バウムクーヘン焼き体験

定員 40人(先着順)

対象 親子、家族

参加費 500円/1人

申込方法 電話申込(受付時間:午前8時30分～午後5時15分)

※①②共通項目

開催場所・申込・問合せ

広島市似島臨海少年自然の家(〒734-0017 南区似島町字東大谷182番地)

☎ 082-259-2766

URL <http://www.cf.city.hiroshima.jp/rinkai/>

※内容が変更になる時がございます。詳しくは「市民と市政」①1/15号②2/15号をご確認ください。



青少年野外活動センター・こども村からのお知らせ

うしずチャレンジクラブ

小学校低学年を対象とした1泊2日の冒険教育プログラムを実施します。

自然体験活動や集団宿泊体験活動を通じて、子どもたちの豊かな心の育成を目指します。

日時 令和4年3月5日(土) 午前11時～6日(日) 午後1時半1泊2日

内容 自然の中での体験活動やレクリエーションなど

定員 30人

対象 小学校1～3年生

参加費 2,000円

申込方法 郵便番号、住所、名前(ふりがな)、年齢、性別、電話番号、学年、学校名、保護者名を明記し、84円切手を貼った返信用封筒(長形3号に宛先を記入したもの)を同封の上、下記申込先まで郵送してください※応募多数の場合は抽選

申込受付期間 令和4年1月15日(土)～1月25日(火) ※必着



開催場所・申込・問合せ

広島市青少年野外活動センター・こども村(〒731-1171 安佐北区安佐町小河内5135)

☎082-835-1444

URL <http://www.cf.city.hiroshima.jp/yagai-ac/>

助成

(公財) マツダ財団からのお知らせ

①第38回(2022年度)青少年を育む市民活動支援募集!

マツダ財団では、次代を担う青少年が、いろいろなことに興味を持ち、体験を通して多くの感動を得ることで、希望をもって成長して欲しいと願っています。With コロナの時代に対応した新たな社会を一緒に作っていきましょう。

対象となる活動 青少年健全育成のための、民間の非営利活動。

特に、青少年の参画度の高い活動、創意工夫を育てる活動、地域での様々なささえあい活動、学校と地域が連携する活動、次世代のリーダーを育てる活動等を期待しております。

○ボランティア育成

○若者の居場所づくり

○自然とのふれあい

○科学体験・ものづくり

○地域連携、コミュニティづくり

○国際交流・協力

支援金額 1件当たり10～50万円(支援総額800万円)

募集期限 令和4年1月16日(日)

URL <https://mzaidan.mazda.co.jp/bosyu/city/index.html>

②「若者×ツナグバ」大募集!

若者が地域社会のために行う非営利の活動をサポートします。

自ら企画し、自ら行動する。受け身ではなく、殻を破りたいとうずうずしている熱い思いを持った若者が一歩踏み出すために背中を押してあげる支援です。

参加団体が自ら活動するだけでなく、参加5団体+マツダ財団で何か協働活動を行います。何を行うかは、5団体の協議で決めます。

対象となる活動 若者自身が企画し実施する地域貢献活動。地域と若者の繋がりが重要です。

対象団体 若者が5人以上の団体で、代表者も若者であること。

※若者の定義は、令和4年4月1日時点で満15歳以上30歳未満の人。

支援金額 1件30万円、5団体(支援総額150万円)

募集期限 令和4年1月31日(月)

URL <https://mzaidan.mazda.co.jp/wakatsuna/index.html>

※①②共通項目

募集地域 広島県、山口県

支援期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日の1年間

応募方法 前述のマツダ財団ホーム

ページから申請書をダウンロードし、必要事項を記入して電子メールで下記申込先に申請してください。(郵送不可)

オンライン説明会 令和3年11月23日(火祝)午後4時～6時、12月22日(水)午後7時～9時

※事前予約制です。マツダ財団ホームページで確認のうえ、メールにてお申込みください。

申込・問合せ

公益財団法人マツダ財団事務局
〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地3-1 マツダ株式会社内

MAIL mzaidan.sj@mazda.co.jp

プラザ主催事業のご案内

上手なプレゼンテーションのコツ～伝える力を養い、市民活動を円滑に～

助成金申請での審査会や会議での司会進行など、団体活動では人前で話をするシーンがたくさんあります。プレゼンテーションを学んで、「伝える力」を養いませんか?

日時 令和4年2月24日(木)～3月10日(木)【全3回】午後7時～9時

定員 15人(先着順)

対象 市民活動などに関わっている(これから始めようと思っている)方で、原則全3回参加できる方

申込受付期間 令和4年1月11日(火)～2月18日(金)

※定員になり次第締切ります。

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟6階マルチメディアスタジオ

余暇楽し人(タノシビト)へのあそびCafe

相談員のみなさんから余暇活用のためのお話を聞いて、余暇をあなたらしく生かす方法を一緒に考えてみませんか? 希望者には余暇についての個別相談を行います。

日時 令和3年12月18日(土)、令和4年1月15日(土)、2月19日(土)、3月19日(土)

いずれも午後2時～3時

※開場は午後1時50分

定員 15人(先着順)

申込開始日 各月1日(1月は4日)から受付開始

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)

相談員 余暇開発士、生きがい情報士、介護福祉士、心理相談員など

なかちゃん音楽の輪「マリンバコンサート」

マリンバの優しい音色をお楽しみください。

出演者 マリンバデュオ Pomie

日時 令和4年3月6日(日) 午後2時～3時(開場:午後1時半)

定員 40人(先着順)

申込受付期間 令和4年2月1日(火)～3月2日(水) ※定員になり次第締切ります。

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟6階スタジオ



パソコン講座

ワード、エクセル、ホームページの作成方法などの講座を開催します。

申込方法

往復はがき、ファクスまたはメールで講座名・住所・氏名(ふりがな)・電話番号(ファクスでお申込みの方はファクス番号)を記入のうえ、申込期間内に合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)へお申込みくだ

さい。

※電話による受付は行っていません。

定員 各講座20人(申込多数の場合は抽選)

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟6階マルチメディア実習室

講座名	①エクセル実用編～きっと役立つ家計簿作り～
日時	令和4年1/9、1/16、1/23、1/30 日曜(全4回) 13:30～15:30
内容	家計簿を実用例として、エクセルの機能を活用した集計表の活用方法
対象	Excelの基本操作ができる方
受講料	4,500円(テキスト代込み)
申込期間	令和3年11月1日～12月20日(必着)
講座名	②Jimdoでホームページ作成講座
日時	令和4年1/14、1/21、1/28、2/4 金曜(全4回) 19:00～21:00
内容	無料サービス「Jimdo」を活用したサイト作成の実習
対象	パソコンの基本操作ができブラウザが扱える方(中級者以上)
受講料	4,500円(テキスト代込み)
申込期間	令和3年11月16日～令和4年1月3日(必着)
講座名	③ゆっくり進めるワード講座
日時	令和4年2/25、3/4、3/11 金曜(全3回) 10:00～12:00
内容	ワードの基本操作・機能をゆっくり丁寧に学習
対象	文字入力ができる方
受講料	3,500円(テキスト代込み)
申込期間	令和4年1月5日～2月15日(必着)
講座名	④ゆっくり進めるエクセル講座
日時	令和4年2/25、3/4、3/11 金曜(全3回) 13:30～15:30
内容	エクセルの基本操作・機能をゆっくり丁寧に学習
対象	文字入力ができる方
受講料	3,500円(テキスト代込み)
申込期間	令和4年1月5日～2月15日(必着)
講座名	⑤パワーポイントを始めてみよう
日時	令和4年3/6、3/13、3/20、3/27 日曜(全4回) 13:30～15:30
内容	メッセージカードやフォトムービーの作成などパワーポイントの基本操作
対象	文字入力・パソコンの基本操作ができる方
受講料	4,500円(テキスト代込み)
申込期間	令和4年1月11日～2月21日(必着)

パソコンサロン

初めてパソコンに触れる方や、基本的なパソコン操作に自信のない方を対象に、パソコンを無料開放します。会場にはICTボランティアがいますので、わからないことがあれば気軽におたずねください。

日時 令和3年12月5日、12日、19日、26日/令和4年2月6日、13日、20日、27日

いずれも日曜日、午後1時半～4時半(時間内出入り自由)

申込 不要(無料)

※パソコンの開放台数は20台

※パソコンの持込みはご遠慮ください。

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟6階マルチメディア実習室

「プラザ主催事業のご案内」に関する申込・お問合せは・・・

広島市まちづくり市民交流プラザ
〒730-0036 広島市中区袋町6番36号(合人社ウエンディひと・まちプラザ)
☎082-545-3911 ☎082-545-3838
URL <http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/>

「らっしゅVol.60(朝凧号)」に関するお詫びと訂正

「らっしゅVol.60(朝凧号)」(7月31日発行)に誤りがありました。

- 1頁～2頁「特集1」の特定非営利活動法人よもぎあとりのメンバーの「小林祥子」さんは、正しくは「小林洋子」さんでした。
- 7頁「人材バンク～名人 宝人 達人～」(右下)「防災イベントの様子」の写真は、正しくは次のとおりです。



▲防災イベントの様子(平成29年8月)

ご迷惑をおかけした皆さまに謹んでお詫び申し上げます。

プラザ通信

企業・団体との連携講座

「未来の家を作ってみよう『引っ張る』と『突っ張る』のバランス」を開催しました。

小学生を対象に、公益社団法人日本技術士会中国本部との連携講座を実施しました。科学や技術の能力を持ち、その能力を生かして働く国家資格をもつ「技術者」である「技術士」のこゝろ、理科出前授業を各地で実施していることを知っていただく機会となりました。

圧力に強い材料と引っ張る力に強い材料を組み合わせ、環境に配慮した軽くて丈夫な構造体の模型を作り、テンセグリティ構造について学びました。

まず、6本の棒を使った模型作りに挑戦しました。棒と輪ゴムの引っ張り合う力をうまく利用し、技術士のアドバイスを取り入れ、参加者全員自分の模型を完成させることができました。残りの時間は、難易度の高い模型に挑戦したり、技術士が「テンセグリティ」構造を使って作った椅子に参加者が座り、構造体の強度について確認することができました。近い将来、子どもたちの中から「技術士」の資格を取得し、社会のさまざまな場面で技術を生かした活動を実現する日がやってくることでしょう。

企業・団体との連携講座は、年5回程度あらゆる分野の企業との連携により講座を企画し実施しています。対象は子どもから大人までさ



▲構造体の模型作り



▲椅子に座って体験

まざままで、企業が培ってきたノウハウを市民のみなさまに提供しています。詳しくは、プラザHPより閲覧できます。ぜひご覧ください。

市民活動人材育成講座

「リーダーシップを支えるコミュニケーション力」を開催しました。

この講座では、市民活動の実践者やこれから携わろうと考えている方を対象に、市民活動のリーダーや実践者として必要な知識や技術を専門的に学習する機会を提供しています。

市民活動とは、地域的・社会的課題解決に向けて市民が自ら積極的に取り組み、営利を目的としない組織的・継続的な活動のことです。

組織を円滑に機能させるためには、目標に対して活動の方向性を示したり、メンバーの育成といった役割を担うリーダーの存在が不可欠と言えます。また、リーダーの発揮する機能(統率力)を示す言葉をリーダーシップと呼びますが、リーダーシップにはさまざまなタイプがあります。

講座の前半では講義を中心に市民活動に適したリーダーシップのタイプと、それを支えるコミュニケーションの関係性について学びました。

また、後半では目標達成に向けてメンバーを導く(育てる)上で効果的な1on1ミーティングなどの実技を交えながら、コーチングベースのコミュニケーション術について学びました。

満足度80%と高いアンケート結果をいただき、受講された皆様にはそれぞれ成果を持ち帰っていただくことができたと感じています。コロナ禍の中で市民活動の

規模も縮小がちと思いますが、その期間を活用してスキル向上を図り、コロナ問題が解決された後は、生き生きと市民活動を実践いただけることを願っております。



▲学習の様子



▲1on1ミーティングの様子

募集しています!

「らしく『情報の森』」に載せてほしい!という、イベントなどの記事を募集しています。次号は、「令和4年3月下旬発行予定」です。令和4年4月以降の情報をお待ちしています。下記、発行者までお送りください。[令和4年1月末日必着]

合人社ウエンディひと・まちプラザ(広島市まちづくり市民交流プラザ)

●開館時間

午前9時30分～午後10時

●休館日

毎月第3月曜日、12月29日～1月3日

●交通アクセス

市内電車:「袋町」電停から徒歩約3分
バス:「袋町」バス停(広島電鉄・広島バス)から徒歩約3分
アストラムライン:「本通駅」から徒歩約6分

●ホームページ

<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/>

●ひろしま情報a-ネット

<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/>

●E-mail

m-plaza@cf.city.hiroshima.jp



プラザHP

〒730-0036 広島市中区袋町6-36

TEL: 082 (545) 3911 (代表)

TEL: 082 (545) 3913 (施設予約受付専用)

FAX: 082 (545) 3838



※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。ただし、車いす利用者等にご利用いただく駐車場は3台分用意しています。

※自転車・バイクの方は、地下の公共駐輪場(有料)をご利用ください。